

こんにちは



第 79 号
6月定例会
平成29年7月20日

豊丘村議会 です

6月定例会

国保税すえ置き	2ページ
補正に質問!	4ページ
12人が一般質問	7ページ
新メンバーの委員会	19ページ
どおなっとる?リニア	21ページ

放水はじめ!
村ポンプ操法大会
説明はP.3



田村防災センター建設予定地

田村防災センター建設に

田村防災センターの委託料1230万円、工事請負費に2300

一般会計補正予算

開会日に提出された補正予算第1号は、予算決算委員会に付託され、最終日に本会議で採決された。人事異動に伴うもの以外の主なものは以下の通りで、歳入歳出5790万4千円を追加し、総額46億6790万4千円で原案通り可決された。

保育費として
中央保育園維持管理経費でプールの目隠しフェンス129万円、洗濯機購入11万円

民生費として
下伊那北部区域外の老人ホーム等で死亡して、北部火葬場を使用した場合も同じ料金で利用できる補助金として15万円

企画費として
コワーキングスペース運営事業として、委託料950万円、備品購入費100万円

企画費として

衛生費として
村の駅の急速充電器を35kwから50kwの変更に400万円

農林水産業費として

リースバイブハウスの工事請負費3棟分240万円、移住定住事業費のゲストハウスに800万円

土木費として

公園3ヶ所の遊具撤去費45万円

教育費として

中学校の防犯カメラ修理費45万円。ソフトボール全国大会参加で教育費補助金10万円。村民体育館LED化400万8千円



LED照明になる村民体育館

表紙の写真
消防団員減少の中、今年も元氣に行われた村ポンプ操法大会。
今年7名の新人が増えた第一分団が1〜3位を獲得。第3分団の新人2名が団長賞を得た。

用語説明

コワーキングスペース運営事業として、①クラウドソーシング②メンタルヘルス・ヒューマンセキュリティ研修がある。クラウドソーシングは、パソコンとインターネット環境があれば誰でも仕事が出来、年数で学べるもので、年数で学び、子育て中の母親や農閑期の農家の所得向上を図る事業。
メンタルヘルス・ヒューマンセキュリティ研修事業とは、都市部企業で、心の病を患う方の増加に伴う田舎での研修や合宿に利用する事業で、都市農村交流を実施するもの。

第2回定例会

6月定例会

国保税、今年は据え置き

— 傍聴に24名 議会をチェック —

6月定例会のあらまし

6月定例会が、6月1日から22日迄の会期で開催された。
開会日には専決処分されている28年度補正予算、専決処分されている条例の一部改正など承認案件7件、29年度補正予算5件、条例改正4件が上程され、即決、または委員会に審査を付託した。
また、固定資産評価委員の選任人事について審査、唐澤久氏（市ノ沢）の2期目の再任を、全会一致で同意した。その後、常任委員会、予算決算委員会を開き、付託された議案を審議した。

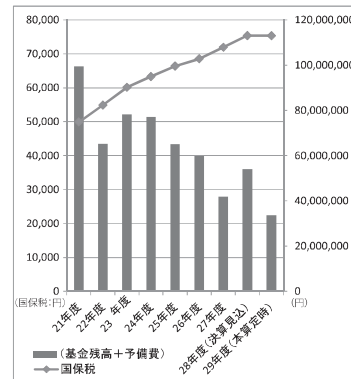
議会、「40代世代に配慮を」

9年連続の値上げに終止符

国保税

毎年6月議会の中心になるのが、国保税の税率決定。国保税条例の改正案が、6月の税徴収に間に合う様、開会日に総務産建委員会へ付託され、例年通り社会文教委員会との連合審査を行った。
審査の中では、国保税が昨年迄9年連続して引き上げられてきたが、①今年度は実質、据え置きで行けそうだが、②農地等にかかる資産割額の徴収分を8%から6%に引き下げる③一方、平等割額・均等割額・所得割額を引き上げる。内容の説明がされた。

税が昨年迄9年連続して引き上げられてきたが、①今年度は実質、据え置きで行けそうだが、②農地等にかかる資産割額の徴収分を8%から6%に引き下げる③一方、平等割額・均等割額・所得割額を引き上げる。内容の説明がされた。



1人あたりの国保税と基金残高+予備費の動き

13日15日には一般質問が行われ、道の駅やリニアを始め、産業や福祉、教育行政などを取り上げ村政をただした。
21日の最終日には、付託した議案すべてを原案通り可決した。「慎重な憲法論議を求める意見書」をはじめ5つの意見書を決議として各関係機関へ送付、会期を1日残り閉会した。
なお、今期定例会傍聴者数は、議会モニターを委嘱した事もあり、24名の方々が議場へ足を運ばれた。

一般会計補正予算 質疑から 野菜増産にパイプハウスをリース



見晴らしの良いコワーキングスペース（旧セミナーハウス）

コワーキングスペース活用委託先は
難しいが研究検討する

唐澤（啓）議員 とよテラス活用の新事業が道の駅集客に繋がるという理由と、重要と思われる委託先について説明を。

総務課 都会から人を呼ぶツールと考えているので、当然消費が生まれる。委託は、県内他地域の話も聞きながら検討している。



H28年度補助金で設置したハウス（伴野原）

パイプハウスのリースの場所は

申請グループの希望による

片桐（義）議員 パイプハウス補助申請が少なかったのが建て、貸し出すとのことだが、村内どこでも良いのか。

るため設備投資の一助と考えた。道の駅周辺に限らない。

井原議員 観光客の収穫体験に利用すれば、産業建設課 今まで力をいれてなかった野菜生産と、直売への出荷促進を考えている。

平澤議員 借り手が誰でも寄りつき易い場所が良いのでは。

産業建設課 2人以上のグループ申請が必要で、申請者の希望する所に設置となる。

片桐（忠）議員 リース代と底地代は、産業建設課 土地は申請者が用意し、ハウスのみをリースする。リース料は未定。

田村防災センター地元負担は

地元負担5割後納

松下議員 3月当初予算でなく補正になったのはなぜか。

唐澤（啓）議員 地元負担金は、総務課 5割を後で納

めていただく。

吉川議員 今回のように田村、壬生沢などいくつかの施設がからんで行う補正は、詳細な資料を付けて説明を。

新しい委員会構成

豊丘村議会委員会条例で、常任委員会の任期が2年と定められていることにより、今回新たな委員会構成を行ったものである。なお、平成29年6月1日付で広報広聴委員会を設置し全員でこれに当たる。

総務産建常任委員会

委員長 平澤 恒雄
 副委員長 吉川 明博
 委員 片桐 義憲
 酒井 浩文
 唐澤 健

議会運営委員会

委員長 唐澤 啓六
 副委員長 滝川 利秋
 委員 井原 康明
 唐澤 健
 川野 孝子

社会文教常任委員会

委員長 下平 豊久
 副委員長 滝川 利秋
 委員 松村 直子
 唐澤 啓六
 井原 康明
 片桐 忠彦
 川野 孝子

予算決算常任委員会

委員長 松村 正三
 副委員長 片桐 義憲
 委員 他全議員
 （議長除く）

村の駅とよおか（仮称）特別委員会

委員長 片桐 忠彦
 副委員長 滝川 利秋
 委員 他全議員
 広報広聴特別委員会
 委員長 吉川 明博
 副委員長 片桐 忠彦

広報部会

部長 片桐 忠彦
 副部長 滝川 利秋
 部会長 井原 康明

（広聴部会）

部長 吉川 明博
 副部長 酒井 浩文
 部会長 唐澤 啓六
 副部長 松村 正三
 委員 片桐 義憲
 松村 正三
 下平 豊久

【6月議会請願・陳情は】

●請 願 （20P 参照）
 ・国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願

＜ 採 択 ＞
 請願者 豊丘村学校教職員組合
 執行委員長 南林 美恵子

●請 願 （20P 参照）
 ・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

＜ 採 択 ＞
 請願者 豊丘村学校教職員組合
 執行委員長 南林 美恵子

●請 願 （20P 参照）
 ・国に対して給付制奨学金制度の創設を求める請願

＜ 採 択 ＞
 請願者 日本民主青年同盟 飯伊地域班
 代表 篠田 祥子

●請 願 （19P 参照）
 ・慎重な憲法論議を国に求める請願

＜ 採 択 ＞
 請願者 憲法9条を守る豊丘の会
 代表世話人 筒井 芳夫

国会と政府に「意見書」を送付しました。

議会から参加する各種 委員会・協議会等の構成

南信州広域連合議会議員・下伊那北部総合事務組合議会議員

下平 豊久
 川野 孝子
 片桐 義憲
 松村 正三
 唐澤 啓六
 酒井 浩文
 吉川 明博

先行投資工事検討委員会
 平澤 恒雄
 企業誘致委員会委員・農業振興地域整備促進協議会委員・水田農業推進協議会・新万年橋（仮称）建設期成同盟会委員
 下平 豊久
 川野 孝子

有線施設運営審議会・豊丘村地域公共交通会議・げんき農業審査会
 平澤 恒雄
 吉川 明博
 社会福祉協議会評議員・特別養護老人ホームあさぎの郷運営委員会
 松村 正三
 豊丘村産業振興組合
 下平 豊久
 平澤 恒雄

消防委員会（消防賞）
 片桐 義憲
 平澤 恒雄
 酒井 浩文

結婚相談員については今回選出を見送る



「道の駅 南信州とよおかマルシェ(仮称)」の進捗状況は

答 盆頃までに建物の本体工事に着手

吉川 明博 議員

質問 道の駅「南信州とよおかマルシェ」(仮称)の3月以降の準備委員会・発起人会の進展、出荷生産者募集と管理方法について進捗状況と今後の予定の説明を。

産業建設課長 基礎工事を盆頃までに完成させ、建物の本体工事に入る予定。来年の2月下旬には建物が完成4月下旬のオープンを目指す。

運営する新法人「株式会社 豊かな丘」(設立予定は全国初「小さな拠点税制」の国の認定を受けた。今年の10月秋頃発起設立で法人設立し、その後出資に関わる説明会を開催し村民の出資を募る。現在は法人発起設立に司法書士と、定款・出資金の募集方法等について、「小さな拠点税制」認定に添った協議をしている。

出荷生産者の募集説明会を6月20・22・23日に行う。野菜の栽培講習会、種苗会社による苗作りの講習会等も早急に計画する。

質問 村は「株式会社 豊かな丘」の株式の51%以上を保有するとのことだが、変わりは無いのか。

産業建設課長 変わりは無い。

質問 総務省自治財政局「第三セクターに関する指針の改定について」



基礎工事が始まった道の駅

とあるが、承知しこれに沿って行うか。

村長 指針に沿って全国初の「小さな拠点税制」の国認可において内閣府から豊丘村のやることを非常に期待されている中で肅々と設立する。

質問 51%以上を保有すると議決権の過半数を手に入れることになり株主総会で単独で可否決ができる。前記の

質問 本山生産森林組合が発生土置き場について取り下げをしたが、県とJR東海旅客鉄道に文書で通知したか。

総務課長 JR東海に日付で5月18日に発生土処分候補地の土地使用の同意を撤回すると連絡をしたと聞いてい

発生土置き場の取り下げを文書でしたか

答 文書で通達しない

質問 村として県及びJR東海に文書で通達していないし、今後も通知しない。

要請 行政においては、口頭での言い交わしを確認するために文書になって通達される。通知を出すことを要請する。

総務省の通知に「地方公共団体の出資は、一般的には必要最小限とすることが適当である」。また、「時限を設け、一定の条件の下で、民営化することの可能性についてあらかじめ検討しておくべきである」。いつまでも会社を村の支配下に置くことはやめ、将来完全民営化する考えはあるか。

村長 この通知は総務省のいわゆる総花的な

中ではこういう形が望ましいとしている。最初にまだ何も動いていないのに先を決めるのではなく、状況をつかみ変えていくことが大事。結果を分析し将来像を決めていくべき。意見 村が株式の51%以上を保有することは健全な経営ではない。将来、全株を買収して完全民営化宣言をしてから始めるべきだ。

一般質問

12人の議員が村政を問う

【1日目】6月13日

発言は通告順

- 吉川 明博 (7ページ) ・豊丘村6次産業化プロジェクトについて
・リニア中央新幹線について
- 川野 孝子 (8ページ) ・高齢者をとりまく現状と対策について
・新ごみ焼却場稼働に向けて分別の徹底はどうか
- 唐澤 健 (9ページ) ・ファシリティマネジメントに関連して
・水道水について
- 滝川 利秋 (10ページ) ・新年度予算の住民周知について
・村の財産＝農村の原風景を守る取り組みについて
・産業開発道路について
- 酒井 浩文 (11ページ) ・特色ある保育環境の整備について
・10年後を見据えた村の開発戦略について
- 唐澤 啓六 (12ページ) ・福祉医療給付制度について
・県営中山間地域総合整備事業について

【2日目】6月15日

- 竹村 直子 (13ページ) ・動物愛護について
・自然資源の有効活用について
- 片桐 忠彦 (14ページ) ・豊丘村下水道事業経営戦略について
・社会資本ストックの更新整備計画策定について
- 松村 正三 (15ページ) ・6次化とそれを担う組織について
- 平澤 恒雄 (16ページ) ・木造住宅の耐震化工事について
・図書館利用を記録する読書ノートについて
・がん検診・特定健診について
・ピロリ菌検査について
- 片桐 義憲 (17ページ) ・地区計画の進捗状況と次期計画への見直しや取り組みについて
- 松下 亨 (18ページ) ・病児・病後児保育について
・脳ドック受診の推進について

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・1議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。



水道の水処理機に補助金を

答 財源も含め研究・検討

唐澤 健 議員



フィルター交換不要のエミール製品

ない。大規模施設に対応した業務用エミール水処理システムもあり、水源付近へ設置できるいか研究・検討をした

質問 豊丘村の水道水質には、カルシウム系の成分である白い固形物が、ホソリ等に付着する。これはスケールと呼ばれる、加熱することにより使用器具の目詰まり等維持管理や耐用年数等に影響が出る。いろいろ研究した中で、フィルター交換の要らない10年保証のあるエミールという製品がある。水道メーター近くに取り付けるもので、本体価格等工事費を合わせて20万円程になる。村でも補助金の制度を作り、より安心安全なおいし

水道水を村民に提供することができないか。

村の駅にAED付き自販機の設置を

答
防犯も含め検討

質問 ファシリティマネジメントとは、庁舎や設備を、職員が働きやすい環境にしながら、村民に良いサービスが提供できる考え方だ。村の公共施設の自動販売機は誰でも設置は可能か。

総務課長 大規模な公
共施設では自販機を建
物管理者の許可により
設置できる。設置者の
制限はない。

質問 入札の方が公平性と確実性が保障されるので、村税収入を増やすために変更を検討しては。

総務課長 近隣町村なり、大規模なところの町村を調べる中で、入札制度の研究をする。

質問 今度の村の駅に設置条件として、AED付きの自販機を検討

災害対策で中段域に予備の井戸を

答 今後の水需要の動向を見極め検討

質問 災害時の飲み水の確保は
総務課長 災害時の緊

急浄水器が1台あり、最初の3日間は水の供給はできる。



AED付き自販機設置可能か



高齢化時代をどう生きるのか

答 地域で支え合い、村の施策と共に

川野 孝子 議員

質問 高齢化社会を認識する為にも高齢者のひとり暮らし、2人暮らしの世帯数はどの位か。

健康福祉課長 65歳以上
のひとり暮らしの世帯は199世帯、2人
共高齢者世帯は286
世帯となる。

質問 この数値が表す現状を非常に重く受け止める、豊丘村には高齢者訪問という事業があるが村に対してどんな相談事があるのか。どのような対処をしているのか。

業務費が平成23年ピークであった。村はこれではまずい。平成24年からは介護予防ステップアップ元年と称し取り組みを続けていく。その効果かその後は横バイの状況となっている。第6期の介護保険料が5950円と県下でも2番目の高さとなっているがその訳は

健康福祉課長 第5期の後半から費用が伸びてきており6期も伸び

保険料を算定した。したがってこの判断がありがらくとの判断は認定率も下がってきており良い方向へ推移している。

質問 家族を介護している人へのケアはどのようにしているのか。

健康福祉課長 介護慰労金として平成28年から年額3万円から6万円に増額している。昨年からはケアラズガフエを開催している。

質問 介護のために仕事を辞めた人がなかなか職場復帰出来ない、何時間にでも働きたいという人に村長として何か考えはあるか。

村長 先ほどの介護保険料について来年度から新たな保険料の設定に当たって村民の人たちに納得いただけるものを示していきたい。介護離職した人、子育て中の女性の仕事について今後商工会とも協議

した。来年オープンする道の駅直売所への出荷野菜栽培のお手伝いも検討したい。

質問 介護保険料を全く利用することなく天寿を全うされた人たちに何か出来ないか。

村長 介護保険にはそれを形にする政策は無い。元氣な老後を過ごすことが出来た幸せを幸いと思つていただければなるらと思つている。



とっても楽しそうなミニデイの一日（南市場）

稲葉クリンセンター9月
稼働に向け分別の徹底は

答 各自治会毎に進めている

質問 9月稼働に向けて分別の徹底に時間が無いと思うがどのように進めているのか。

環境課長 9月から稲葉クリーンセンターが稼働する。自治会等へ職員が出向き説明会を

まとめた資料を全世界帯に配布する。各種団体等の機会も捉えて説明も検討している。ごみ分別ガイドブックの改訂版も8月下旬には配布出来るよう進めている。



特色ある保育環境の整備は

答 さらに充実させ成果を出していく

酒井 浩文 議員

質問 保育環境の充実を目的に3園に知育遊具を設置した。子どもの本能を刺激する遊具設置で見られた効果は、子ども課長 3園それぞれ違う遊具を設置し園ごとの交流をしている。頭を使いスリルを感じながら、達成感を味わうことができる。どの子どもも自発的に外に出て体を動かして遊ぶようになったり、自然と給食も食べ、お昼寝もぐっすりしている。優しく強い心をもった子どもになってほしい。

質問 村独自の自然体験事業は、どのような効果が見られたか。

子ども課長 自然体験を保育の柱に据えて5年目となった。日本子育て学会での研究発表の調査において、地域探検隊や農作物収穫体験等の活動は、子ども自身の体験が拡大し、家庭でのコミュニケーションが促進され、子

どもと親のニーズに合った活動であることが検証された。今後こうした活動が、子どもの発達にどのような影響があるかをさらに検証したい。

質問 国際化に向けた幼児期からの外国語教育の必要性が叫ばれているが、保育環境においてどのような導入を考えているか。

教育長 平成28年から、A・L・Tを活用した英語あそび教室を実施している。多文化共生保育が幼児期の語学教育の基礎になるよう進化させていきたい。

(※A・L・T(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー) 外国語指導手)

質問 子どもたちの自発的な遊びや運動を促す園庭の芝生化についてどう考えているか。

子ども課長 子どもにとってより良い環境を整えるため、維持管理



低コストで芝生化した喬木南保育園の園庭

10年後を見据えた村の開発戦略は

答 将来を展望し前向きに対応する

質問 これから10年後、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通、長野国体の開催等、どんな地域が変わっていくのか。村の10年後のイメージは。

村長 様々な交通網の整備に向け、今何ができるかを考えることが仕事である。直売所設置は地域活力を高めることができる。観光農業事業も新たに生み出

す必要がある。企業版ダーチャ(企業従業者に農地を貸与し、週末等に耕作することで様々な相乗効果が得られる)等、将来を展望し、前向きに対応していくことが重要である。

質問 リニア工事による資産の活用をどう考えているか。残された跡地等の有効利用策は。

村長 都市部の優良企業等と連携したダーチャや、自然・農業・林業を活かした観光事業等に利用できるのでは。よい活用方法について提案頂きたい。

質問 未来を描く検討組織の設置構想は。

村長 豊丘村及び下伊那北部地区の振興について研究する「2027年中央新幹線活用戦略研究会」を今年度新たに設置していくよう予算化している。これから委員公募を行っていく。



「予算とくらし便利帳」で周知を

答 わかり易い広報活動に努めたい

滝川 利秋 議員

各地の棚田再生どう見る

答 福島の取り組み各地へ推進

質問 村の財産である農村の原風景を守る取り組みについて、豊丘村の農業振興にかける諸施策、財政支援は、県下でも傑出していると感じているが、どんなか。

産業建設課長 村単で2200万余の予算、近隣町村と比べても、内容、金額共に非常に充実している。

質問 農業就業人口や耕作放棄地はどんな状況か。

産業建設課長 この10年で概ね、3割農業就業人口は減少している。耕作放棄地は微増傾向。近隣町村もほぼ同様の、数値となつてい

質問 この一般質問を通じ、この結果をどう分析するか、どうしたらよいかを一緒に考えていきたい。産建課の机の上に「農地・農業を大切にす村」とス

事業によつては直接対象者に通知するなどしているが、わかり易い広報を思っている。

総務課長 「予算とくらし便利帳」は、以前村でも研究したが、当初予算にすべて含まれるものばかりでなく、出しづらい。

ローガンを掲げ、そういう空気を村全体へ作っていく事が大切と思う。飯田市千代のよこね田んぼの方々は、30年前、全体の4割が休耕田となった状況に危機感を持ち、この棚田を『感動を共感できる場所、千代の財産』と位置づけ、保全委員会を作つて道づくり同様無償で出役、棚田を守っているという。自治の原点を見た思い。それは豊丘村においても、福島の皆さんが見事な美しい棚田に復活させた取り組みと重なるもの。こういう意識をもの。こういう意識をどう私達が学ぶかという事に、今後の農業振興、地域づくり、ひいては村づくりの力がある様に思えてならない。思う事があつたら開かせて下さい。

産業建設課長 福島の棚田の取り組みを村内各地で推進できれば。



甕った地域の財産(本村棚田)

提案 補助金プラスα αは住民自治と村をあげてのスローガン

提案 千代や福島の皆さんの取り組み、考え方、補助金プラスαの部分に自治の精神、住民自治の重要性が、力ギだと思ふ。村の原風景を守る取り組み、ふるさと創生の力ギは、住民自治と、村を挙げ

てのスローガンにあると思う。産建課で話し合つて頂き、実施して頂きたい。

要望 産業開発道路規則が今年改正された事からその背景と改正内容を質問、寄付用地の分筆登記負担減を要望。



犬猫の去勢避妊手術補助を

答 希望数の把握から

竹村 直子 議員

市町村	成猫	仔猫	計
飯田市	53	150	203
松川町	8	13	21
高森町	7	36	43
阿南町	1	6	7
阿智村	20	26	46
平谷村	1	4	5
根羽村	0	4	4
下條村	2	5	7
売木村	0	0	0
天龍村	2	0	2
泰阜村	4	10	14
喬木村	5	11	16
豊丘村	4	16	20
大鹿村	0	2	2
合 計	107	283	390

平成27年 飯田保健所への猫持込数

質問 犬猫を飼う人は多いが、飼ひ方のマナーや動物の命についてどのように考えるか。

村長 犬の苦情は頻繁には無いが、時々道具を持たず散歩する人を見る。広報活動の必要性は感じる。猫は、フン尿の匂いや鳴き声等の苦情はほとんどなく、概ねマナーの良い家庭が多いと思う。反面、中途半端に餌を与え、

近隣住民が迷惑しているケースが数件あることも聞いている。野良猫に關した連絡や対応は多い。保護した野良猫は飯田保健所で引き取ってもらう。昨年度から譲渡会をして殺処分数は減っているが、可哀相なので出来れば幸せに命を全うしてほしい。

質問 村内での動物の事故について詳細を。

環境課長 28年度道路上で死亡していた猫は16匹、狸など獣は25匹。長沢の獣墓地に埋葬しており、掛かる諸費用は9万程。

質問 静岡県藤枝市では、適度な飼育を促すように猫の登録制を行っているが、考えは。

村長 避妊手術助成との併せで多少効果あるだろうが、費用掛かる。慌てず検討したい。

質問 27年度県内保健所への猫持込み頭数1270中、飯伊390。その内豊丘は成猫4仔猫16。飯伊動物愛護会



飯田保健所で里親を待つ猫（ホームページより）

では毎年50匹先着順の助成。村で助成をしないか。

雨水タンク設置に補助を

答 北部で足を揃えつつ検討

質問 自然エネルギーの補助金は、太陽光発電のみだが。

村長 この地域が将来へ向けて良い形で再生

可能エネルギーを受け入れることが大事。

質問 花木への水やりや打ち水に使える雨水タンク。2年前は「研

究させて」との答弁だったが、研究結果を。村長 飯田市や松川で実施しており、タンク設置工費の半額を補助している。北部5カ町村で足を揃えながら、係と検討していく。



子ども医療費、窓口完全無料化を

答 受給者の一定の負担は必要

唐澤 啓六 議員

質問 長野県において長年の懸案であった子どもの医療費窓口無料化が、2018年8月受診分から実現することとなる。子どもの医療費窓口無料化は全国では41都道府県で実施されており、未実施は長野県を含む6県のみであることから、長年にわたって窓口無料化を求めてきた運動の成果であり喜ばしいことである。

しかし、県の方針では受給者負担金（1レセプト500円）は現行通りとすること、また、障害者医療は、現行償還払い制度を継続する点は改善の余地を残している。豊丘村では、現在受給者負担金は200円減額し300円としていたが、この際全廃し窓口完全無料化にふみさるべきと考えるが、

又、障害者医療は医療機関での自己負担金が多額となることから子

どもの医療費と同様に窓口無料化とするよう県に積極的に働きかけるべきと考えるが。

健康福祉課長 県の検討委員会では受給者負担金について福祉サービスとの受益と負担の関係を明確にし共に制度を支え合う一員であることを自覚してもらうこととしており、豊丘

村でも1レセプト300円の負担は継続していきたい。

村長 受給者に一定の負担をしてもらうという県の考えには同感である。障害者医療の窓口無料化は実施すべきと考えるが、豊丘村だけではできないので近隣市町村に呼びかけて県へ要望していきたい。

市民農園計画は再検討が必要では

答 変更は難しいが上に計画を組み立てる



遊休農地も目立ち始めた勝負平の有効な開発は

インガルデンは先行実施している郡内町村では契約の更新ができず、「空き」状態が増えている。実施地区の河野勝負平広域農道が計画変更により未開設であり、この事業で農道開設することは必要と考えるが、クラインガルデン計画を変更して果樹団地等を造成するこ

とも視野に入れてしっかりと計画を練り直す必要があると考えるが。

産業建設課長 近隣町村の現状は承知している。市民農園は都市と農村の交流ということ

で申請しているのも果樹を植えることは難しいと考えるが、同じような効果ができれば可能と思われるので上手に計画を組み立てたい。



新法人設立は間に合うか

答 待ったなしの取り組みをしている

松村 正三 議員

質問 下水道経営戦略の中で、下水道施設の更新投資計画は、ストックマネジメントを作成し今後の検討となっている。これらが具体化され実施されると、繰り出し金は確実に膨らんでくる。一般会計からの繰り出し基準についての考え方はあるのか。

答 今後下水道事業を地方公営企業会計に移行すると、財務諸表が整備され、それらを基に投資計画や財源を試算し、将来予測

質問 第5次振興計画の策定に当たり、村として本腰を入れて農工商連携による産業振興をはかっていくことがうたわれた。

答 それが豊丘まるごと6次産業の村づくりであり、それを担う核となる組織の必要性と先ず取り組む事業として、直売所、レストランを中心とした村の駅（仮称）の構成は始まった。今では、村の駅としての施設建設議論に終始し、その建設が日々進んでいる。

然し、昨年のうちに社名の決まった「榎豊かな丘」、中身が見えてこない。

いつ設立を確実に迎えるのかも不安であり、心配だ。

村の駅オープンまで8ヶ月、法人設立はできるのか。

産業建設課長 村の駅を運営する法人の設立に当たって、今回内閣



基礎工事が着々と進む村の駅

府より全国初の小さな拠点税制の認定をうけた。

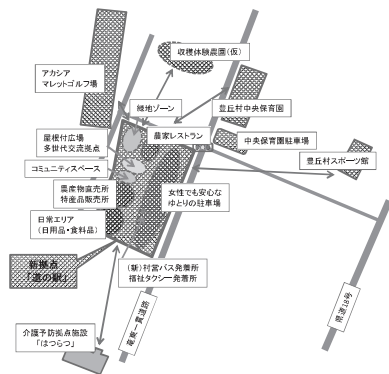
そのことにより当初考えていたこと以上にやらなければならないことが多々出てきた中で、それらを全てクリアしていきたいことから、専門家の方にも相談したり、内閣府とも直接協議するなど進めている。

とにかく10月には発

起設立だけはして、その後小さな拠点税制認定のスケジュールに従って、12月には村民の皆さんからの出資を募り設立をしていくというところで、もう待ったなしの状態であることは確かだ。

したがって、10月発起設立というスケジュールどおりけるよう取り組んでいるところだ。

●豊丘村「道の駅」を中心とした「小さな拠点」づくり●



質問 設立させる法人は、人・農地プランが具現化された地域や団地などと連携しながら、豊丘まるごと6次化の村づくりに大きく貢献すべきと思うが、産業建設課長 法人が6次産業の中核となる

答 設立させる法人は、人・農地プランが具現化された地域や団地などと連携しながら、豊丘まるごと6次化の村づくりに大きく貢献すべきと思うが、産業建設課長 法人が6次産業の中核となる

新法人の責務は
村の駅を成功させること



下水道事業への繰り出し基準の考え方は

答 施設建設改良や起債償還金に

片桐 忠彦 議員

質問 昨年の下水道料金改定のおり示された、下水道使用料比較折線グラフでは、事業所の使用料は低くなっている。これは村の施策として低く押さえているが、経営上の不足分を

事業所使用料の公平性は
答 公平性の施策検討必要

質問 下水道経営戦略の中で、下水道施設の更新投資計画は、ストックマネジメントを作成し今後の検討となっている。これらが具体化され実施されると、繰り出し金は確実に膨らんでくる。一般会計からの繰り出し基準についての考え方はあるのか。

環境課長 今後下水道事業を地方公営企業会計に移行すると、財務諸表が整備され、それらを基に投資計画や財源を試算し、将来予測

又経営健全化や財源確保の具体化について、検討される。さらにストックマネジメント計画を策定し経営戦略の見直しを実施すると繰り出し金の方性は見えてくる。一般会計からの繰り出し金については、施設の建設改良に伴う経費、起債の元利償還金分との考え方で来ている。そうしたスタンズで維持できればと考える。

※建物管路等を有効活用し長寿命化を図る手法

繰入金で補っていれば、使用料に補助を出していることとなる。下水道区域内は補助があり、区域外の事業所は個々対応となれば公平が欠ける。何か施策必要では。

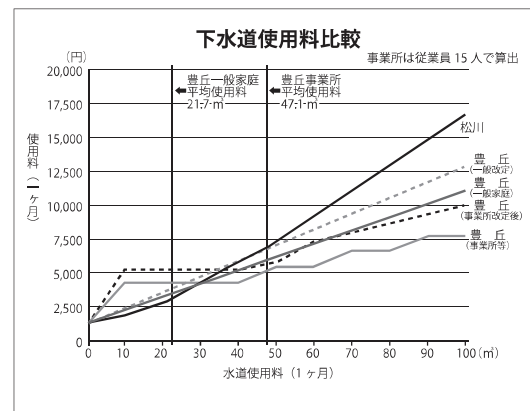
質問 下水道事業経営戦略の中に「更新投資の平準化」の文言があるが、下水道事業のみならず社会資本すべてにおいて更新計画を策定し、そのうえで平準化を図らないと意味がないと考える。

総務課長 現在毎年度定量的な予算処置を行い、維持補修をしている。今後も同様に続けていく。建物等の公共施設については人口規模に合った維持管理計画は作っていく必要があると考える。

村長 事業所使用料については近隣市町村で一番低額となっている。従量制に移行していない事も、その原因の一つになっている。

下水道区域外に事業所が建設される場合浄化槽設置に助成制度が現在無いため、公平性が必要がある。

社会資本すべて更新投資計画は必要 答 人口規模に合った維持管理計画は必要





地区振興計画の進捗状況は

答 山間地域の事業実績顕著

片桐 義憲 議員



地区計画の策定により、事業が進められている

質問 国、県の補助事業、コミュニティ事業（宝くじ還元金、あるいは村単の自づくる地域づく交付金）により一定の事業進捗は伺えるが、道半ばでの課題も山積している実態。これらを踏まえ、地区2期計画に向けての取り組み状況や、新課題の浮上について伺う。

総務課長 地区2期計画の策定状況は、策定完了が4地区。今年度完了予定が1地区、未

2期計画に向けての取り組み状況は 未策定地区の早期計画を進める

策定が4地区となっている。未策定地区の早期計画の樹立をお願いしている。

豊丘村総合戦略プラン、未来とよおか創生プランに沿い、人口減の食い止め、地域活力向上に取り組む。各地区の現状や、今後の動向等議論の中で策定してきた経過もあり、地区計画の達成状況を常に検証し、今後の事業展開を図りたい。



耐震化工事補助金の増額を

答 30万円かさ上げで他町村より有利

平澤 恒雄 議員

図書館利用の 読書ノート作成を

答 先進導入事例を見て検討する

質問 飯田、高森、松川の読書ノートは、どんなものか。
教育長 新システム導入に合わせて検討している所。当村の検討はまだしていない。
質問 京都府亀岡市ではブックノートを作り1750人に配った。記録が増えるのが楽しみで好評だという。当村でも作つたらどうか。

村長 誕生日本にふさわしいと考える。導入事例を検討する。



読書家を知っている、ちょっと隠れた図書館入口

各種検診を1日で 受けたい

答 人間ドックへの補助で推奨

質問 がん検診と特定健診の対象者と受診者の状況はどうか。
健康福祉課長 がん検診は人間ドックや勤め先での実施者を把握していない。特定健診対象者は1049人、受診者661人、受診率63%で過去最高。
質問 群馬県桐生市は、1日で各種検診を



子供連れで特定健診に、健康志向のヤングママ

そつくり受けられる成

人総合検診がある。当村でも実施したらどうか。
村長 桐生市は11万人。当村での適否の検討を要する。国保加入者の人間ドックへ補助を出し推奨している。

中学2年生で ピロリ菌検査を

答 タイミング等研究する

質問 ピロリ菌除菌は胃がん対策に有効か。
健康福祉課長 動物実験では、胃がん発生の抑制を確認している。
質問 中学2年生の血液検査にピロリ菌項目

うであつたか伺う。
村長 各区毎に、係長以上の職員を3名づつ張り付け、コーディネーター的役割も担っている。充分とは言えないが、地域の「生懸命」が良くわかる。有り難い事。



各区の要望に対して、できる限りのバックアップを惜しまない。

平成29年度 国民健康保険税 賦課額を据え置き

総務産建委員会報告

委員長 平澤 恒雄

**国民健康保険税率
昨年並みに据え置き**

**常任委員会選任される
3人は初委員**

初日6月1日に、常任委員会の選任があり、新たに7人が指名された。今後とも、所管事項

議案名 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

概要 本案は平成29年度の国民健康保険の税率を決定するもので、5月24日の国民健康保険運営協議会での審議及び答申をふまえたもの。被保険者1人当たりの賦課額を、医療費給付分と後期高齢者医療支援金分の合計で75343円とし、前年より88円減額で据え置く。

審査結果 全会一致で可決

審査での質疑 賦課額の資産割構成比率を今回2%下げ、約260万円歳入減額とした。これを所得割均等割り・平等割へ割り直すと年額6900円増額の世帯もでる。据え置きとは矛盾するとの指摘があった。

**国に慎重な
憲法論議を
求める請願
を採択**

請願名 慎重な憲法論議を国に求める請願

概要 憲法審査会に対して憲法の基本理念の実現に努める事。国会に対して拙速な改憲議論は行わない事を求めるもの。

審査結果 全会一致で採択

審査での質疑 今にわかに憲法論議をするのではなく、憲法論議は常に行われるべきものなどの意見があった。

現状分析など意見の違いはあるが、国へ慎重な憲法論議を求める事はよく理解できるとして採択した。



新しく総務産建委員になったメンバー
後列左から 滝川利秋委員・唐澤健委員・酒井浩文委員・片桐義憲委員
前列左から 下平豊久議長・平澤恒雄委員長・吉川明博副委員長



厚生病院での病児・病後児保育は

答 小児科医の確保が課題

松下 亨 議員



下伊那厚生病院内の私設保育所「いちだっこ」

ドックの助成を拡充しないか

答 国保以外の方は今後研究する

質問 脳血管疾患は怖い病で後遺症に悩むかたもいる。この病気の早期発見に「脳ドック」が有効とされる。脳ドックの受診はどのようになっているか。

健康福祉課長 国保加入者は人間ドックを受ける際、希望すれば受診できる。助成金は15000円。国保以外の方は、55歳のときだけこの助成を受けられる。昨年度の55歳受診者は25人。この内、5人が隠れ脳梗塞と診断された。

質問 脳ドックの有効性が証明された。費用が8万円前後かかる。助成金に上乗せできないか。

また、国保以外の方は定年が伸びつつあり、55歳の他60歳の受診も補助対象にできないか。

村長 健康保険組合など他の保険制度でも助成措置はあると考える。また、他市町

では伊那市に2カ所と駒ヶ根市に1カ所ある。

質問 私の調査では県内10の広域連合内に2〜3カ所は設置されている。飯伊は1カ所で遅れている。先日、高

森町長と面談したが、高森町でも検討中で、厚生病院にできればよいし、丸山公園周辺も考えているという。厚生病院の院長とも面談した。院内保育園があ

り併設は可能という。課題は小児科医の確保とのこと。

村長 厚生病院にできればよいが、小児科医の確保は簡単ではない。

閉塞感なしで脳のMRIができる機器（厚生病院）



確認書の内容を協議

道路改良工事及び工事用車両通行に関する「確認書」の内容について協議を行った。

確認書は、坂島工区トンネル工事に伴う村道及び林道大島蛇川線を改良するもので、工事関係車両の通行による影響を低減するため、村とJ.R.の間で交わすもの。なおトンネルの掘削は、発生土置場が決定されてからの着工となる。

〔主な意見〕

道路工事用車両の認識の拡大・努力義務記述を義務にすべき・歩行者の観点による内容の修正・発生土運搬に関する内容は置場が決定していないので現時

リア特別委員会 坂島工区着工に向けた 道路改良工事始まる

委員長 酒井 浩文

工事用道路改良工事 概略工程表

工 種	平成29年度											備考
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
林道大島蛇川線 村道中央橋筋線 待避場所設置工												村道中央橋筋線 開始時期は未定
林道大島蛇川線 法面護欄設置工												
林道小蛇線 側溝舗装工												
村道長沢線・村道中央橋 道安全対策												

安全祈願祭が、4月9日請負業者主催で林里の現地において行われた。出席者は国會議員、国県関係者、地権者、村の駅関係者総勢70人余となった。完成は来年3月を予定。

運営規約の検討について

農産物等販売施設出荷登録・運営規約は、村の駅直売所に出荷す

安全祈願祭 実施される

前回以後は、本体工事の安全祈願祭が実施された。また、農産物等販売施設出荷登録・運営規約（案）について、村から説明を受け、意見交換を行った。

村の駅とよおか（仮称）特別委員会 出荷登録・運営規約を検討 出荷者説明会を行い 運営規約の周知を図る

委員長 片桐 忠彦



道の駅安全祈願祭

方法価格設定、販売する商品、在庫管理、品目別預かり期間やその後の引き取り方法等、かなり細かくなっている。その中で、引き取り方法の手順について、また品目別の預かり期間については、作物別にさらに細分化が必要等の意見が出された。村は、説明会の中で意見いただき調整するとの事であった。

新メンバーで 積極的政策提言を行っていく

社会文教委員会報告

委員長 松下 亨

この請願は、日本民主青年同盟の飯伊地区班代表から出された。内容は、国に対して月3万円の給付制の奨学金制度の創設を求めるもの。県下には、医学生や看護師等に対するも

国に対して給付制奨学金制度 の創設を求める請願を採択

委員会は構成の再編で新たなメンバーでスタートした。委員一同この地でよかつた実感でできる社会をつくるため精一杯取り組みたい。初回の委員会では次の事項を積極的に取り組み、確認した。

① 各種団体との意見交換会の実施

② 意見交換会等から課題を整理して政策提言及び予算要望を行う。

以上の他、委員会に付託された議案や請願陳情についてもしつかり

のはあるが、広く一般を対象としたものはない。このため、学力があつても学費負担ができないために大学進学をあきらめている学生がいる。よって、経済的に困難な世帯を含め

調査、研究していきたい。なお今年度の意見交換会は次の団体等を予定している。①学校長・教育委員会 ②下伊那厚生病院 ③近隣町村議会 ④村内の介護事業所 ⑤高齢者クラブ他、3校PTAと各保育園保護者会には児童の健全育成のためのご意見を寄せていただくので、よろしく願いたい。

6月議会に付託された請願について、審査した概要は次のとおりとなっている。

「国の責任による35人学級の推進と、教育予算の増額を求める請願」と「義務教育国庫負担制度の堅持を求める請願」は採択

詳細は紙面の都合で割愛する

てより多くの学生が利用できる給付制奨学金の創設を求める、というもの。

審査では、現在自民党などが検討している制度は、対象が住民税非課税世帯となっており、また各高校で1人だけなど極めて限定されているなどの意見が出される。審査結果は、全会一致で採択された。



心機一転新たな気持ちで（社会文教委員）
後列左から 井原康明委員・松村正三委員・唐澤啓六委員・片桐忠彦委員
前列左から 竹村直子副委員長・松下亨委員長・川野孝子副議長

みんぱのページ

シリーズ

私ががんばっています



片桐監督率いる48オールスターズ

ソフトボールチームの「よんぱち」でいつも楽しく遊んでいます。

昭和48年度生まれの仲の良い同年が中心のグループで、20歳から5年に1回、村の24時間ソフトボール大会に出場していました。消防団をみんなで務め終えたときに、せっかくよい深くまとまったのだからこのまま解散するのももったいな

いといふので、ユニフォームを作ったり、各種大会に出場するようになっていきました。

みんなで楽しくやっていたけれど、何でも良かったのだけれど、何となく選んだソフトボールが性に合っていたようで、毎週の練習（慰労会）も10年以上よく続いているなど自分でも思います。最近では40歳以上の大会で長野県優勝するなど、全国大会にも出場するようになつてしまいました。せっかくなので「豊丘村」を宣伝していきます。（『村』って全国ではかなり目立ちますよ）

これからも長く続けていきたいので、練習も仕事も家庭のこともしっかり頑張つて、いつまでもよんぱちであいたいと思っています。

編集後記

◇2年毎改選される各常任委員会のメンバー構成が行われた。さらに議会改革の一環として、新たに発足させた広報広聴委員会の担当も割り振られた。今回の『議会報』79号からは、広報広聴委員会の中の広報部会が発行を担当する。今回半数以上の者が引き続き発行を担当するが、新たな体制の中、村民の皆さんが知りたいであろう情報や議会活動の様子、さらに議会が村民の皆さんに身近に感じて頂けるような、情報誌になればと考えている。今後は新たな議会モニターさんのご意見ご指導いただく中、取り組んで参りたい。（片桐忠彦）

発行責任者

議長 長 下平 豊久

広報部会

委員長 片桐 忠彦

副委員長 滝川 利秋

委員 竹村 直子

委員 唐澤 健

委員 井原 康明

委員 川野 孝子

豊丘議会だより
第79号 6月定例会
平成29年7月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広報広聴委員会広報部会
印刷／龍共印刷（株）

豊丘村議会

検索

〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp